

2021年度第1四半期 決算報告書

プレスリリース
2021年4月30日、パリ発



底堅い決算、ジョーズ効果はポジティブ

緩やかな景気回復下、経営資源を結集、経済への貢献を継続

シンジケートローン、債券市場、株式市場で
1,120億ユーロ（前年同期比+21%）を調達¹
融資残高：前四半期比: +0.2%

営業収益が伸長

前年同期比+8.6%

単一破綻処理基金²に対する拠出増にもかかわらず、
ジョーズ効果はポジティブ

営業費用：前年同期比+5.4%
(IFRIC 21²「賦課金」を除くと前年同期比+2.3%)

リスク費用は低水準

42 bp³

純利益は堅調

2021年度第1四半期の純利益⁴: 17億6,800万ユーロ（前年同期比+37.9%）

バランスシートは盤石

普通株式等Tier 1比率：12.8%

1. 出所：Dealogic社、2021年3月末時点、ブックランナー、配賦額；2. IFRIC21に基づく税金・拠出金は、通年分のほぼ全額を第1四半期に計上（単一破綻処理基金に対する推定拠出額を含む）；3. リスク費用+顧客向け融資期首残高；4. 親会社株主帰属純利益



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



BNPパリバの取締役会が2021年4月29日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2021年度第1四半期の業績が検討されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に以下のように述べました。

「BNPパリバは、経営資源と専門知識を全て結集し、個人・法人・機関投資家のお客様をご支援し、着実に持続可能な景気回復の実現に貢献を続けています。

当グループは、環境面・社会面のコミットメントを強化し、デジタル・事業変革を続けており、多角的かつ統合的なビジネスモデル、盤石な財務構造、独自の取引プラットフォーム上の高い執行能力を基盤として、堅実な決算を達成しています。

BNPパリバの世界中のチーム全てに謝意を表します。健康危機が何カ月にもわたるなか、各チームはお客様が対処できるよう一貫してご支援し、的確なソリューションを整備し、お客様の経済活動の回復に寄り添っています。」

*
**

底堅い決算、ジョーズ効果はポジティブ

BNPパリバ・グループは、経営資源と専門知識を全て結集し、個人・法人・機関投資家のお客様をご支援し、今回の健康危機の多様な局面で生じている経済的ニーズにお応えしています。

第1四半期の経済活動は公衆衛生環境の改善に伴って徐々に復調しましたが、地域・セクター・事業分野によってモメンタムに違いが生じました。

こうした状況下、BNPパリバの事業活動は堅調です。最も強靱（レジリエント）なセクターや顧客セグメントにおける位置取り、主要行としての地位強化、効果的な多角化が奏功しています。

当グループは、お客様のため、シンジケートローン、債券市場、株式市場¹で1,120億ユーロ以上を調達し、前年同期比21%増を達成しました。融資残高は前四半期比0.2%増でした。

BNPパリバの当四半期決算は堅調でした。グループ全体の営業収益は118億2,900万ユーロ、前年同期比8.6%の増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+12.0%）。2019年度第1四半期比でも6.1%の増収を果たしました。

事業部門の営業収益は前年同期比7.0%増で、内訳は以下の通りです。国内市場部門²は1.1%の増収でした。リテールバンキング支店網での金融手数料の増加に加え、アルバルと個人投資家部門（特にドイツのConsorsbank）の力強い伸びが牽引役となりました。国際金融サービス部門は0.6%の減収³でした。保険/アセット・マネジメントの堅調な伸びやバンクウエストの高業績が他事業の不振の影響を相殺しました。ホー

¹ 出所：Dealogic社、2021年3月末時点、ブックランナー、配賦額

² 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.4%



ルセールバンキング（CIB）部門は24.3%の増収¹で、全部門（コーポレートバンキング、グローバル・マーケット、証券管理）とも好調でした。

営業費用は、グループ全体で85億9,700万ユーロと前年同期比5.4%増加しました。費用増の要因は事業活動の伸びと税金・拠出金の大幅増（前年同期に比べ2億7,900万ユーロ増）でした。当四半期の営業費用の中には、国際財務報告基準解釈指針委員会（IFRIC）第21号（以下「IFRIC21」）「賦課金」の適用により当年度に計上される税金・拠出金全額14億5,100万ユーロが含まれており（前年同期は11億7,200万ユーロ）、主にユーロ圏の単一破綻処理基金への拠出金です。IFRIC 21「賦課金」を除くと、当四半期の営業費用は前年同期比2.3%増に留まります（事業活動の伸びによる費用増）。

当四半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用²と事業適応費用³（5,800万ユーロ）、および、IT強化費用（1,900万ユーロ）が合計7,700万ユーロ含まれています（前年同期は7,900万ユーロ）。

事業部門の営業費用は前年同期比2.8%増⁴でした。国内市場部門では0.9%増に留まり、IFRIC 21「賦課金」を除くと0.9%減、リテールバンキング業務⁵では1.8%減でした。ジョーズ効果は正で0.2ポイント、IFRIC 21「賦課金」を除くと2.0ポイントでした。国際金融サービス部門の営業費用は6.5%の大幅減⁶で、高いジョーズ効果を生み出しました（+5.8ポイント）。CIB部門の営業費用は事業活動の伸びに伴って膨らみ15.6%増⁷でしたが、ジョーズ効果はかなり高水準でした（+8.7ポイント）。

営業総利益はグループ全体で当四半期に32億3,200万ユーロとなり、2020年度第1四半期比で18.3%、2019年度第1四半期比で19.9%の急増でした。

リスク費用は8億9,600万ユーロ、前年同期に比べて5億3,000万ユーロ減、顧客向け融資残高の42bp相当と低位でした。不良債権（ステージ3）の減損も低水準で、2019年に近い水準でした。

これらを受けて、当グループの当四半期の営業利益は23億3,600万ユーロとなり、前年同期比79.0%の大幅増益でした。

営業外項目は当四半期に4億8,700万ユーロの利益となり、前年同期の4億9,000万ユーロの利益とほぼ同等でした。当四半期の営業外項目には、2件の建物売却による譲渡益3億200万ユーロ（前年同期は+3億8,100万ユーロ）とBNPパリバ・アセットマネジメント株の売却による譲渡益9,600万ユーロが含まれています。ちなみに、2019年度第1四半期（+7億5,700万ユーロ）と比べると大幅な減少です。

税引前利益はグループ全体で当四半期は28億2,300万ユーロでした。2020年度第1四半期（17億9,500万ユーロ）と比べて57.3%の大幅増益、2019年度第1四半期と比べても5.2%の増益でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+29.6%

² 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

³ 特にウェルス・マネジメント部門とCIB部門に関する適応策

⁴ IFRIC 21「賦課金」を除くと+0.9%

⁵ フランス国内リテールバンキング、BNLバンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング

⁶ IFRIC 21「賦課金」を除くと-6.7%

⁷ IFRIC 21「賦課金」を除くと+13.6%



法人税率は平均で**35.9%**でした。これは特にIFRIC 21「賦課金」により生じる税金・拠出金が第1四半期に
通年分の全額が計上され、この大半は税控除できないことによるものです。平均法人税率は、**2020年度第1
四半期は24.2%、2019年度第1四半期は23.3%**でした。

以上から、グループ全体の当四半期の株主帰属純利益は**17億6,800万ユーロ**となり、**2020年度第1四半期比
で37.9%の大幅増益、2019年度第1四半期比では7.8%の減益**でした。なお、一時項目による影響¹、および、
IFRIC 21に基づく税金・拠出金の影響を除くと**28億2,400万ユーロ**で、**2020年度第1四半期比では34.9%増
益、2019年度第1四半期比では10.1%増益**でした。

有形自己資本利益率（ROTE、再評価前）は**10.6%**でした。

普通株式等Tier 1比率は、**2021年3月末現在12.8%**²で、**2020年12月末と同水準**でした。グループの即時利用
可能な余剰資金は**4,540億ユーロ**に上っており、これは短期資金調達との関係で**1年超の余裕資金**があること
を意味します。レバレッジ比率³は、ユーロ中央銀行制度（ユーロシステム）への預金関連の一時的免除を
考慮後で**4.3%**でした（この影響を除くと**3.9%**）。

1株当たり有形純資産額⁴は2021年3月末現在で74.5ユーロに達し、**2008年12月末からの年平均成長率は
7.3%**に相当し、当グループが景気局面を通して継続的に企業価値を創造する能力を有していることを証明
しています。

当グループは内部統制体制の強化を継続しています。

当グループは社会に深く関わる意欲的な方針の推進を続けており、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」
（17目標）に即して社会的責任（CSR）戦略を立案・実行しています。**2016年以降、当グループはSDGsに
対する自社の貢献度を毎年評価すると共に、エネルギー移行を促進している企業やSDGsに直接貢献してい
ると目されるセクターに対する融資拡大に意欲的目標を設定**しています。この融資額は**2020年末現在1,880
億ユーロ**で⁵、当グループは**2022年末までに2,100億ユーロ**に拡大する目標を掲げ、その達成のため「金融包
摂、気候変動、生物多様性」の3テーマに照準を合わせたアクションプランを導入しています。

*
**

¹ 一時項目による影響（税引後）：2021年度第1四半期は+2億3,600万ユーロ、2020年度第1四半期は+2億600万ユーロ、2019年
度第1四半期は+3億3,000万ユーロ

² 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号の経過措置を含む

³ 欧州委員会規則第2020/873号（第500b条）に基づき算定

⁴ 再評価後

⁵ 2020年度ユニバーサル登録文書、チャプター7.2を参照されたい



リテールバンキング&サービス事業

国内市場部門

国内市場部門は経済を支援し続けました。融資残高は前年同期比**6.5%**増え、業務全てで増加を記録し、企業向け貸出の伸びは高く、住宅ローンも好調でした。預金残高は健康危機の影響により前年同期比**13.7%**増でした。また、オフバランス貯蓄商品は**2020年3月末比18.2%**の大幅増でした。

デジタルツールの利用は加速を続け、モバイルアプリの接続回数は1日当たり**480万回**を超え¹、前年同期比**37.3%**増加しました。国内市場部門はデジタルサービスの提供拡大を継続し、**Nickel**の口座開設数は**200万**以上²、**Hello Bank!**では顧客数は**300万**に上りました。また、サービスセンターの本格展開も進めています。ここでは革新的な技術基盤を活用し、お客様の要望を統合的に管理・共有した対応を行っています。フランスでは営業担当者全員がこの情報入手の装備を整えており³、ベルギーでも配備を進めています。

営業収益⁴は、当四半期に**39億5,600万ユーロ**となり、前年同期比**1.1%**の増収でした。金融手数料の伸びや融資残高の増加に加え、アルバルと個人投資家部門（特にドイツの**Consorsbank**）の極めて高い寄与もあり、低金利環境がリテールバンキング業務に及ぼしたマイナス影響を相殺しました。

営業費用⁴は、当四半期は**29億9,700万ユーロ**、前年同期に比べて小幅増でした（**+0.9%**）。IFRIC 21「賦課金」を除くと前年同期比**0.9%**減で、リテールバンキング業務⁵ではより顕著に減少しました（**-1.8%**）。専門的金融業務では事業活動の伸びに伴って増加しました。ジョーズ効果は**+0.2ポイント**、IFRIC 21「賦課金」を除くと**+2.0ポイント**でした。

これらを受けて、営業総利益⁴は当四半期に**9億5,900万ユーロ**となり、前年同期比**1.6%**増益でした。

リスク費用⁴は**3億1,500万ユーロ**でした（前年同期は**3億1,300万ユーロ**）。

以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益⁶は当四半期に**5億9,000万ユーロ**となり、前年同期比**2.8%**増でした。IFRIC 21「賦課金」を除くと前年同期比**6.1%**の増益です。

¹ 範囲は国内市場部門のリテールバンキング支店またはデジタルバンクの個人顧客、中小企業顧客、プライベート・バンキング顧客（ドイツ、オーストリアを含む）、および**Nickel**。第1四半期の平均値。

² 設定来

³ 音声チャネル

⁴ フランス（PEL/CELの影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの**100%**を含む

⁵ フランス国内リテールバンキング、**BNL**バンカ・コメルシアレ（**BNL bc**）、ベルギー国内リテールバンキング

⁶ PEL/CELの影響を除く：2021年度第1四半期は**+100万ユーロ**、2020年度第1四半期は**-1,300万ユーロ**



フランス国内リテールバンキング (FRB)

FRBは事業活動の水準維持を達成し、経済のファイナンスに積極的に従事し続けました。融資残高は、法人・個人向け貸出の増加に牽引され、前年同期比**11.2%**増でした。住宅ローンの組成は堅調で、利鞘は着実に拡大しています。預金残高は、健康危機が顧客行動に及ぼした影響により前年同期比では**17.8%**増加しましたが、前四半期比では**0.4%**減でした。オフバランス貯蓄商品は、特に生命保険に対する高水準の資金流入（前年同期比**+44%**）が寄与し、**2020年3月末比で19.4%**増加しています。プライベート・バンキングへの資金純流入も高水準でした（**+13億ユーロ**）。

営業収益¹は当四半期に**14億8,000万ユーロ**となり、前年同期比**2.9%**の減収でした。純利息収入¹は、貸出活動の伸びに加え、専門的金融業務を手掛ける子会社からの寄与も回復したものの、低金利環境のマイナス影響を補い切れず、**3.2%**減でした。手数料収入¹は、高水準の金融手数料にもかかわらず、**2020年度第1四半期比で2.6%**減でしたが、**2019年度第1四半期比では大幅増**でした（**+11.8%**）。

営業費用¹は**11億6,900万ユーロ**と前年同期比ほぼ横ばいでした（**+0.3%**）。リテールバンキング支店網の最適化・適応策が奏功し、IFRIC 21「賦課金」を除くと**1.1%**減でした。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に**3億1,000万ユーロ**となり、前年同期比**13.3%**減でした。

リスク費用¹は、当四半期は**1億2,500万ユーロ**でした。前年同期比で**2,500万ユーロ**増加しましたが、顧客向け融資残高の**24bp**相当と低水準でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益は当四半期に**1億5,600万ユーロ²**となり、前年同期比**29.8%**の減益でした。

BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL bcの事業活動は極めて好調でした。融資残高は顧客セグメント全てで着実に伸び、前年同期比**5.4%**増、不良債権を除くと**7.2%**増でした。預金残高は前年同期比**18.8%**増でした。オフバランス貯蓄商品は、特に市場のパフォーマンスに押し上げられ、**2020年3月末比で14.3%**増加しています。生命保険は大幅に伸び（**2020年3月末比+8.5%**）、ミューチュアルファンドの運用資産も急増しました（同**+24.0%**）。また、BNL bcはお客様の危機対応のご支援を続け、イタリア政府やイタリア外国貿易保険（SACE）³が保証する新規融資を当四半期に**7億ユーロ**近く提供しました。

営業収益⁴は当四半期に**6億7,600万ユーロ**となり、前年同期比**2.6%**の増収でした。純利息収入⁴は、利鞘の拡大と融資残高の増加によるプラス効果が低金利環境によるマイナス影響を相殺し、**0.8%**増でした。手数料収入⁴は、金融手数料がオフバランス貯蓄商品・取引の伸びにより増加したことが寄与し、前年同期比**5.3%**増加しています。

営業費用⁴は**4億5,900万ユーロ**、前年同期比**1.3%**減でした。コスト節減策や事業適応策（イタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度を含む）が奏功しました。ジョーズ効果は正でした（**+3.8**ポイント）。

¹ フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

² PEL/CELの影響を除く：2021年度第1四半期は**+100万ユーロ**、2020年度第1四半期は**-1,300万ユーロ**

³ イタリア外国貿易保険（SACE）：イタリア政府が全額出資する輸出信用保険機関

⁴ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む



ント)。IFRIC 21「賦課金」を除くと、営業費用¹は2.1%減でした。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に2億1,700万ユーロとなり、前年同期比11.8%増でした。

リスク費用¹は、不良債権（ステージ3）の減損減少が続いたことが寄与し、1億1,000万ユーロに留まり（前年同期比1,000万ユーロ減）、顧客向け融資残高の56bp相当と低水準でした。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当四半期に9,700万ユーロとなり、前年同期比53.3%の大幅増でした。

ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

BRBの事業活動は上向きしました。融資残高は前年同期比0.6%増え、特に個人向け貸出の伸びが前年同期比2.1%増と堅調でした。預金残高は前年同期比7.2%増え、顧客セグメント全てで増加しました。オフバランス貯蓄商品は、有利な市場動向が特に寄与し、力強い伸びを記録しています（2020年3月末比+17.8%）。

デジタルツールの利用は加速を続け、モバイルアプリへの月次接続回数は約5,000万回²に上りました（前年同期比+56.9%）。

営業収益³は、当四半期は8億5,800万ユーロ、前年同期比3.0%減でした。純利息収入³は、低金利環境のマイナス影響を融資の伸びによるプラス効果では補い切れず、前年同期比7.2%減少しました。手数料収入³は、オフバランス貯蓄商品の拡大に伴って金融手数料の伸びが堅調で、前年同期比7.4%の増収でした。

営業費用³は、コスト節減策のほか、支店網の最適化策の継続も奏功し、当四半期は8億3,500万ユーロと前年同期比で小幅増に留まりました（+0.6%）。IFRIC 21「賦課金」を除くと2.9%減でした。

これらを受けて、営業総利益³は当四半期に2,300万ユーロとなり、前年同期比57.2%減でした。

リスク費用³は当四半期は4,700万ユーロと前年同期の5,400万ユーロから減少し、顧客向け融資残高の16bp相当と低水準でした。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRBの税引前損益は当四半期に3,500万ユーロの損失となりました。IFRIC 21に基づく税金・拠出金（-3億1,900万ユーロ）が響きました。

その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickel、ルクセンブルク国内リテールバンキング）

国内市場部門の専門的金融業務はいずれも高水準の事業開発を達成しました。アルバルのファイナンスフリートの契約台数は力強く伸び（前年同期比+5.4%⁴）、中古車価格は各国で堅調さを維持しました。アルバルの社会的責任に対するコミットメントが認められ、仏EcoVadis社⁵から2020年の功績に対して「プラチナ」

¹ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む

² 第1四半期の平均値。範囲：個人顧客、法人顧客、プライベート・バンキング顧客（BNPパリバフォルティスとHello Bank！）

³ ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む

⁴ 平均フリート台数（千台）

⁵ 企業に社会的責任（CSR）の評価を付与するコラボラティブオンラインプラットフォーム



(セクターで上位1%の企業) 評価を取得しました。リーシング・ソリューションズでは、ファイナンスリース残高が前年同期比2.0%増加¹しました。個人投資家部門は、ドイツのConsorsbankに資金が大量流入したことや市場の力強いパフォーマンスを追い風に、運用資産の大幅増を達成しました(2020年3月末比+47.1%)。Nickelはフランスで躍進を続け、口座開設数は200万を超え²、販売店も6,000を上回っています。ルクセンブルク国内リテールバンキング(LRB)では、融資残高が前年同期比4.5%増え、個人・法人向けのローン組成が高水準でした。

これら5つの業務部門合計の営業収益³は当四半期に9億4,200万ユーロに上り、前年同期比11.4%の大幅増でした。特にアルバルと個人投資家部門(とりわけドイツのConsorsbank)が力強く貢献しました。

営業費用³は5億3,300万ユーロ、前年同期比5.0%増でした。コスト節減策で抑制しましたが、事業活動が増加し、嵩みました。ジョーズ効果は高水準でした(+6.4ポイント)。

リスク費用³は当四半期は合計3,300万ユーロでした(前年同期は3,800万ユーロ)。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務(国際金融サービス部門)へ配分した後、これら5つの業務部門の税引前利益は当四半期に3億7,200万ユーロに達し、前年同期比27.0%の大幅増益を果たしました。

*
**

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門は、健康危機の影響にもかかわらず堅調でした。パーソナル・ファイナンスでは、公衆衛生措置の緩和に伴ってローン組成が大幅回復を記録しました。国際リテールバンキング業務⁴では手数料収入とローン組成が力強いペースの伸びを達成しました。また、当部門への資金純流入は51億ユーロに上り、特に堅調な市場の恩恵を受けました。

国際金融サービス部門はデジタル化の強化を続けています。国際リテールバンキング業務⁴ではデジタル顧客が480万人に上り(前年同期比+13%)、お客様がデジタルツールを利用して行った取引は1億1,000万回を超え⁵、また、パーソナル・ファイナンス業務では3,100万通の取引月次明細書がデジタル化されています⁵。

国際金融サービス部門の当四半期の営業収益は40億2,800万ユーロ、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比4.4%増でした(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は、ユーロの上昇により0.6%の小幅減)。主にバンクウェスト、保険、アセット・マネジメントの各事業の力強い伸びが牽引役となりました。

営業費用は、健康危機を契機に強化したコスト節減の取り組み継続が奏功し、当四半期は25億8,700万ユーロに留まりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は前年同期比6.5%減、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は2.1%減でした。

これらを受けて、営業総利益は当四半期は14億4,100万ユーロ、前年同期比12.0%増でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 設定来

³ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む

⁴ 欧州・地中海沿岸諸国部門とバンクウェスト

⁵ 算定期間は2020年12月~2021年2月



リスク費用は当四半期は3億5,700万ユーロと前年同期に比べて3億8,200万ユーロ減少しました。前年同期は健康危機の予想影響額が2億2,000万ユーロに上っていました。

以上から、国際金融サービス部門の当四半期の税引前利益は12億4,200万ユーロに上りました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は前年同期比95.7%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は103.9%増でした。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンス事業は底堅さを示しました。公衆衛生措置の緩和に伴うローン組成の顕著な回復により、期末時点の融資残高は2020年度第3四半期の底から伸び続けています。ただし、融資残高の伸びは店舗閉鎖（前年同期比-8%）の影響を受けました。

パーソナル・ファイナンスの営業収益は、当四半期は13億3,200万ユーロ、前年同期比9.7%減でした。健康危機による取引高減少が響きました。

営業費用は7億6,300万ユーロで、コスト節減の取り組み継続が貢献し、前年同期比3.1%減、IFRIC 21「賦課金」を除くと6.0%減でした。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に5億6,800万ユーロとなり、前年同期比17.3%減でした。

リスク費用は当四半期は3億2,100万ユーロと前年同期を2億6,100万ユーロ下回りました。前年同期は健康危機を展望して正常債権（ステージ1と2）の特別引当1億8,900万ユーロが加わっていました。当四半期のリスク費用は顧客向け融資残高の138bp相当で、効果的な延滞債権管理や債権回収の高実績を反映しています。

以上から、パーソナル・ファイナンスの当四半期の税引前利益は2億6,400万ユーロでした。リスク費用の急減が寄与し、前年同期比133.6%の大幅増益でした。

欧州・地中海湾岸諸国

欧州・地中海湾岸諸国部門は不利な環境にありながら力強い事業活動を達成しました。融資残高は前年同期比1.4%増¹でした。個人顧客向け貸出が伸び、ローン組成が2020年8月の底から回復を続けたことが寄与しました。預金残高は前年同期比6.9%増え¹、各国とも増加しました。アクティブなデジタル顧客は390万人に上り、前年同期比14%増加しています。

欧州・地中海湾岸諸国部門の営業収益²は当四半期は5億1,600万ユーロ、前年同期比8.9%減¹でした。純利息収入の減少（特にトルコとポーランド）に伴う減収で、手数料収入は2020年度第2四半期の底打ち後は安定しています（+27.1%）。

営業費用²は4億3,300万ユーロ、前年同期比0.9%増¹に留まりました。賃金ドリフトが特にトルコで高水準だったものの、費用増は抑制されました。

リスク費用²は3,900万ユーロで（顧客向け融資残高の42bp相当）、前年同期を下回りました。不良債権（ステージ3）の減損減少が寄与しました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの100%を含む



以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に4,100万ユーロとなり、前年同期比25.5%減¹でした。

バンクウエスト

バンクウエストは高水準の事業活動を維持し、米国経済の下支えを続けました。融資残高は、特に2020年の事業停止が響き、前年同期比3.4%減¹でした。企業向け貸出は安定的で、米国連邦政府の中小企業支援策にも積極的に参画しました（2021年初来10,000件の融資、総額約12億ドルを実行）。住宅・有担保設備ローンの組成は急増しました（前年同期比+24%）。預金残高は健康危機/経済対策に伴って18.9%増え¹、顧客預金²が大幅に伸びました（+21.1%¹）。プライベート・バンキング業務の運用資産残高は2021年3月末時点で174億ドルに達し、2020年3月末比で16.8%増加¹しています。

また、バンクウエストの顧客体験のクオリティが認められ、2020年グリニッチ・ビジネス・バンキング・サーベイの中小企業顧客満足度で第1位に選ばれました。顧客体験は最新の人工知能（AI）ソリューションの配備によってさらに強化されており、お客様の要望をより効果的かつ迅速に割り出しており、即応を可能にしています。

営業収益³は当四半期は6億2,500万ユーロ、前年同期比11.8%増¹でした。増収はローン組成や預金残高の増加によるもので、低金利環境のマイナス影響を上回りました。営業収益には非経常的項目も含まれており、非経常的項目を除くと前年同期比2.1%増¹です。

営業費用³は、コスト節減の継続が寄与し、4億700万ユーロ（前年同期比-4.7%¹）に留まり、高いジョーズ効果（+16.5ポイント¹）を生み出しました。

これらを受けて、営業総利益³は当四半期に2億1,800万ユーロとなり、前年同期比65.3%の増益¹でした。

リスク費用³は改善しました。前年同期は6,200万ユーロの引当が生じましたが、当四半期は引当金戻入益を700万ユーロ計上しています。当四半期は不良債権（ステージ3）の減損が前年同期を下回り、正常債権（ステージ1と2）の引当金戻入益で相殺できました。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益は当四半期に2億1,900万ユーロ、前年同期の3倍となりました。

保険およびウェルス&アセット・マネジメント

保険部門、ウェルス・マネジメント部門、アセット・マネジメント部門の運用資産残高は、2021年3月末現在で総額1兆1,720億ユーロ⁴に上りました。3部門の当四半期の資金純流入は51億ユーロで、ウェルス・マネジメント部門（特にアジア、ドイツ、フランス、米国）の資金流入は極めて高水準で、アセット・マネジメント部門でも中長期ファンドへの資金流入が旺盛で、保険部門では特にユニットリンク保険に順調な資金流入が見られました。パフォーマンス面の影響は極めて良好で（+204億ユーロ）、堅調な市況や高い運用実績が押し上げ要因となりました。また、為替面の影響も有利でした（+84億ユーロ）。一方、Shinhan Financial Groupとの合弁事業においてBNPパリバアセット・マネジメントが保有していた持分を売却したため、連結範囲変更によるマイナスの影響もありました（-273億ユーロ）。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 財務活動に関わる預金を除く

³ 米国プライベート・バンキングの100%を含む

⁴ 分配金を含む



運用資産残高¹の2021年3月末現在の内訳は、アセット・マネジメント部門が5,020億ユーロ（Real Estate Investment Managementの280億ユーロを含む）、ウェルス・マネジメント部門が4,020億ユーロ、保険部門は2,680億ユーロでした。

保険部門の事業活動は2020年度第4四半期と同様に上向き続けました。貯蓄型保険はフランス国内外で高実績を記録し、資金流入は前年同期を30%以上上回り、ユニットリンク保険では前年同期を50%以上上回る資金純流入が見られました。事業活動は保障保険でも堅調で、フランス国内では特に人身傷害補償保険や損害保険の販売が増えました（Cardif IARD）。国際的には、健康危機の影響はアジアでの販売増で一部相殺されました。保険部門はフランス政府の経済対策の一環である融資プログラムにも参画する方針です（10億ユーロ規模）。

保険部門の営業収益は、当四半期は7億9,200万ユーロ、前年同期比36.7%増でした（前年同期は金融市場の下落に伴って一時的な会計上の影響が生じていました）。営業費用は3億8,300万ユーロ、前年同期比2.6%減に留まりました。税引前利益は、関連会社の収益増を考慮後で4億4,200万ユーロ、前年同期比124.8%増でした。

ウェルス&アセット・マネジメント部門は全体的に極めて好調でした。ウェルス・マネジメント部門では、事業活動が拡大し、旺盛な資金純流入が特に大口顧客からあり、運用資産関連と取引関連の手数料収入は極めて高水準でした。アセット・マネジメント部門は力強い水準での推移を維持し、特に欧州・アジアで中長期ファンドに高水準の資金純流入が見られました（前年同期比+80億ユーロ）。アセット・マネジメント部門（BNPパリバアセット・マネジメント）は責任投資/サステナブル投資のリーディングカンパニーとして、欧州連合（EU）で2021年3月に施行されたサステナブルファイナンス開示規則（SFDR）を遵守しています。そのオープンファンドの80%²はSFDRに従って第8条または第9条の商品に分類され³、社会的責任投資（SRI）における強いリーダーシップを体現しています。不動産管理部門の事業活動は依然厳しい環境の余波を受けましたが、事業活動の一部（例えばアドバイザー業務）は回復しつつあり、特に英国で顕著です。

ウェルス&アセット・マネジメント部門の営業収益は当四半期は7億8,400万ユーロ、前年同期比5.5%増でした。ウェルス・マネジメント部門では低金利環境が純利息収入にマイナス影響を及ぼし、金融手数料の増加では補えませんでした。アセット・マネジメント部門の営業収益は堅調で、2020年の力強い資金純流入や市場の上昇が寄与しました。不動産管理部門の営業収益は徐々に正常化しつつあります。営業費用は6億1,200万ユーロ、前年同期比4.7%減で、全部門で減少し、特に不動産管理部門とアセット・マネジメント部門が顕著でした。ジョーズ効果は高水準でした（+10.1ポイント）。以上から、国内市場部門、トルコ、ポーランド、および米国からプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメント部門の税引前利益は当四半期に2億7,500万ユーロとなりました。前年同期比168.9%の増益で、アセット・マネジメント部門の営業総利益の大幅増や持分売却による譲渡益が押し上げ要因となりました。

*

**

¹ 分配金を含む

² 2021年3月末時点の運用資産比率

³ サステナブルファイナンス開示規則（SFDR）の「第8条」は社会的な目的や環境的な目的を促進する商品、「第9条」はサステナブルな投資目的を促進する商品。



ホールセールバンキング (CIB) 部門

CIB部門は事業活動や業績で目覚ましい向上を達成し、事業活動は全部門で底堅い伸びとなりました。

ファイナンス業務は株式発行とデットファイナンス（シンジケートローンと債券発行）の双方で好スタートを切りました。事業活動は金利・為替・クレジット市場とも堅調で、エクイティデリバティブ業務とプライムサービス業務は高水準でした。また、証券管理部門ではカスタディ業務の預り資産・管理資産残高の増加を達成し、取引高は記録的水準に増加しています。

CIB部門の営業収益は、当四半期は36億7,000万ユーロ、前年同期比24.3%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと29.6%増）。コーポレートバンキング部門の営業利益の伸びは高く（前年同期比+21.8%¹）、グローバル・マーケット部門の増収は極めて力強く（同+46.6%¹）、証券管理部門も増収でした（同+5.1%¹）。

コーポレートバンキング部門の営業収益は、当四半期は12億4,300万ユーロ、前年同期比16.2%の増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+21.8%）。営業収益は全地域で増え、特に欧州と米州が堅調でした。事業活動は高水準で、エクイティキャピタル市場でのブックランナーとしての取引高は前年同期の3倍以上、社債発行は13%増でした。投資適格社債の発行では、欧州と世界全体の双方で市場シェアを伸ばし続けています²。融資残高は1,490億ユーロで、2020年度上半期の急増を経て正常化した影響により前年同期比6.2%減³でしたが、前四半期比では1.0%増でした。コーポレートバンキング部門は、2020年度上半期にお客様の支援に向けて力強く結集したことが奏功し、欧州・中東・アフリカ（EMEA）地域のシンジケートローンでトップの座を確たるものにしていきます⁴（2019年比+1.1ポイント）。また、欧州では首位（2020年度にさらに上昇）、アジアでは2年連続で上位5社⁵にランクしています。預金残高は1,840億ユーロで前年同期比22.5%増³、前四半期比では2.1%減でした。

グローバル・マーケット部門の営業収益は、当四半期は18億4,600万ユーロ、前年同期比41.4%増⁶でした。

FICC⁷業務の営業収益は当四半期に11億4,900万ユーロとなり、2020年度第1四半期比では15.7%減⁸に留まりましたが、2019年度第1四半期比では大幅増でした（+11.0%）。プライマリー/クレジット/コモディティデリバティブ市場での事業活動は好調でしたが、金利・為替市場の事業環境は前年同期に比べると不利でした。

株式・プライムサービス業務の営業収益は当四半期に6億9,700万ユーロに上り、前年同期（-8,700万ユーロ）から急増しました。増収要因は、事業活動が記録的高水準となったことに加え、デリバティブ取引が前年同期の衝撃（厳しいショックに見舞われ、配当を抑制⁹）から回復した成果です。

市場リスクの尺度であるバリュエーション・アット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は主に取引高の増加に伴って5,500万ユーロに上昇しましたが、引き続き穏当な水準です。

証券管理部門の営業収益は、当四半期は5億8,100万ユーロ、前年同期比0.7%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.1%）。取引手数料の増加と資産の大幅増が寄与しました。事業活動は引き続き堅調で、新規顧客のオンボーディングに伴って電子プラットフォーム上の取引は着実に拡大し、ユーロ圏では新規顧客の中にかなり大口のマンデート1件（預り資産3,000億ユーロ超）も含まれていま

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 出所：Dealogic社、2021年3月末時点、ブックランナー、取引高

³ 平均残高（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く）

⁴ 出所：Dealogic社、2021年3月末時点、ブックランナーのランキング（取引高ベース）

⁵ 出所：Greenwich Share Leaders、欧州・アジアの大企業

⁶ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+46.6%

⁷ Fixed Income, Currencies, and Commodities（債券、通貨、コモディティ）

⁸ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁹ 欧州金融当局が2019年度の配当抑制を勧告した影響：2020年度第1四半期に-1億8,400万ユーロ



した。証券管理部門は事業変革を継続しました。例えばAllfunds社との戦略的提携を推進し（Allfundsはファンド販売会社と運用会社をつなぐWealthTechプラットフォームで、2021年4月23日にIPOを実施）、また、BNP Paribas Securities ServicesとBNP Paribas SAの合併案を発表しました。預り資産と取引高は拡大を続け、期中平均残高は前年同期比9.1%増加しました。金融市場の上昇、新規顧客のオンボーディング、記録的な取引水準（前年同期比+10.4%）が押し上げに寄与しました。

CIB部門の営業費用は、当四半期は高水準の事業活動に伴って27億6,700万ユーロに上り、前年同期比15.6%増でしたが、高いジョーズ効果を生み出しました（+11.3ポイント¹）。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当四半期に9億300万ユーロとなり、前年同期比61.4%の大幅増益を果たしました。

CIB部門のリスク費用は、当四半期は1億7,200万ユーロに減少しました。コーポレートバンキング部門の引当が1億8,500万ユーロ生じましたが（顧客向け融資残高の51bp相当）、グローバル・マーケット部門（前年同期のリスク費用は1億6,100万ユーロ）で1,400万ユーロの戻入がありました。

以上から、CIB部門の税引前利益は当四半期に7億5,100万ユーロとなり、前年同期比3倍でした。営業総利益の力強い伸びとリスク費用の減少が貢献しました。

*
**

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期は3億1,400万ユーロでした（前年同期は1億2,600万ユーロ）。増収要因は、プリンシパル・インベストメントが2020年度第1四半期の落ち込みから回復して大きく寄与したこと、インドのSBI Life株4.99%の売却により譲渡益が生じたこと（+5,800万ユーロ）です。

営業費用は、当四半期は3億3,100万ユーロでした。この中には、IFRIC 21 に基づく税金・拠出金として1億3,000万ユーロ（前年同期は1,200万ユーロ）、一時項目として、事業再編費用²と事業適応費用³が5,800万ユーロ（同4,500万ユーロ）、IT強化費用が1,900万ユーロ（同3,400万ユーロ）含まれています。

リスク費用は、当四半期は5,500万ユーロでした（前年同期は1,300万ユーロ）。

その他の営業外項目は当四半期に2億9,200万ユーロの利益となりました（前年同期は3億8,100万ユーロの利益）。当四半期の営業外項目には建物売却による譲渡益3億200万ユーロが含まれています（前年同期は+3億8,100万ユーロ）。

以上から、コーポレート・センターの当四半期の税引前利益は2億3,900万ユーロでした。これに対し、前年同期は3億9,800万ユーロでした。

*
**

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

³ 特にウェルス・マネジメント部門とCIB部門に関する適応策



財務構造

当グループの財務構造は極めて盤石です。

普通株式等Tier 1比率は2021年3月末現在12.8%¹で、2020年12月末の水準と同等でした。この主因は以下の通りです。

- 配当性向50%を考慮後、当四半期純利益を剰余金に計上 (+10bp)
- リスクアセットの増加 (-10bp)

レバレッジ比率²は、ユーロシステムへの預金関連の一時的免除を考慮後で、2021年3月末現在4.3%でした（この影響を除くと3.9%）。

即時利用可能な剰余資金は2021年3月末現在で4,540億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

*
**

¹ 資本要求指令4 (CRD4) ; 国際財務報告基準 (IFRS) 第9号移行条項を含む

² 欧州委員会規則第2020/873号 (第500b条) に基づき算定された比率



連結損益計算書

	1Q21	1Q20	1Q21 / 1Q20	4Q20	1Q21 / 4Q20
(単位：百万ユーロ)					
グループ					
営業収益	11,829	10,888	+8.6%	10,827	+9.3%
営業費用および減価償却費	-8,597	-8,157	+5.4%	-7,562	+13.7%
営業総利益	3,232	2,731	+18.3%	3,265	-1.0%
リスク費用	-896	-1,426	-37.2%	-1,599	-44.0%
営業利益	2,336	1,305	+79.0%	1,666	+40.2%
持分法適用会社投資損益	124	95	+30.4%	68	+82.2%
その他の営業外項目	363	395	-8.0%	496	-26.8%
営業外項目	487	490	-0.6%	564	-13.6%
税引前利益	2,823	1,795	+57.3%	2,230	+26.6%
法人税	-969	-411	n.s.	-558	+73.7%
少数株主帰属純利益	-86	-102	-15.7%	-80	+7.5%
株主帰属純利益	1,768	1,282	+37.9%	1,592	+11.0%
コストインカム率	72.7%	74.9%	-2.2 pt	69.8%	+2.9 pt

BNP パリバの 2021 年度第 1 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースに含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類 (universal registration document) を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2021年度第1四半期—コア事業別業績

		国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	コーポレート・ センター	グループ 合計
(単位：百万ユーロ)							
営業収益		3,816	4,028	3,670	11,514	314	11,829
	対前年同期比	+1.6%	-0.6%	+24.3%	+7.0%	n.s.	+8.6%
	対前四半期比	-0.6%	+2.9%	+10.7%	+4.0%	n.s.	+9.3%
営業費用および減価償却費		-2,912	-2,587	-2,767	-8,266	-331	-8,597
	対前年同期比	+0.9%	-6.5%	+15.6%	+2.8%	n.s.	+5.4%
	対前四半期比	+14.9%	+1.3%	+26.3%	+13.6%	+17.1%	+13.7%
営業総利益		904	1,441	903	3,248	-17	3,232
	対前年同期比	+3.7%	+12.0%	+61.4%	+19.5%	n.s.	+18.3%
	対前四半期比	-30.7%	+6.0%	-19.7%	-14.3%	-96.8%	-1.0%
リスク費用		-311	-357	-172	-841	-55	-896
	対前年同期比	+0.1%	-51.7%	-52.7%	-40.5%	n.s.	-37.2%
	対前四半期比	-32.2%	-47.3%	-60.2%	-46.4%	+86.8%	-44.0%
営業利益		593	1,084	731	2,408	-72	2,336
	対前年同期比	+5.6%	+97.8%	n.s.	+84.4%	n.s.	+79.0%
	対前四半期比	-29.9%	+59.0%	+5.6%	+8.5%	-87.0%	+40.2%
持分法適用会社投資損益		-5	100	9	104	20	124
その他の営業外項目		3	57	11	72	292	363
税引前利益		591	1,242	751	2,584	239	2,823
	対前年同期比	+5.4%	+95.7%	n.s.	+84.9%	-39.8%	+57.3%
	対前四半期比	-33.5%	+63.5%	+5.8%	+9.5%	n.s.	+26.6%

		国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	コーポレート・ センター	グループ 合計
(単位：百万ユーロ)							
営業収益		3,816	4,028	3,670	11,514	314	11,829
	前年同期	3,757	4,053	2,953	10,762	126	10,888
	前四半期	3,838	3,915	3,315	11,068	-241	10,827
営業費用および減価償却費		-2,912	-2,587	-2,767	-8,266	-331	-8,597
	前年同期	-2,885	-2,766	-2,393	-8,043	-114	-8,157
	前四半期	-2,534	-2,555	-2,190	-7,279	-283	-7,562
営業総利益		904	1,441	903	3,248	-17	3,232
	前年同期	872	1,287	560	2,719	12	2,731
	前四半期	1,304	1,360	1,125	3,789	-524	3,265
リスク費用		-311	-357	-172	-841	-55	-896
	前年同期	-311	-739	-363	-1,413	-13	-1,426
	前四半期	-459	-678	-432	-1,570	-29	-1,599
営業利益		593	1,084	731	2,408	-72	2,336
	前年同期	561	548	197	1,306	-1	1,305
	前四半期	845	682	692	2,219	-554	1,666
持分法適用会社投資損益		-5	100	9	104	20	124
	前年同期	0	75	3	77	18	95
	前四半期	1	56	8	64	4	68
その他の営業外項目		3	57	11	72	292	363
	前年同期	0	12	2	14	381	395
	前四半期	44	22	9	75	421	496
税引前利益		591	1,242	751	2,584	239	2,823
	前年同期	561	634	202	1,397	398	1,795
	前四半期	890	759	710	2,359	-129	2,230
法人税							-969
少数株主帰属純利益							-86
株主帰属純利益							1,768

連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
グループ					
営業収益	11,829	10,827	10,885	11,675	10,888
営業費用および減価償却費	-8,597	-7,562	-7,137	-7,338	-8,157
営業総利益	3,232	3,265	3,748	4,337	2,731
リスク費用	-896	-1,599	-1,245	-1,447	-1,426
営業利益	2,336	1,666	2,503	2,890	1,305
持分法適用会社投資損益	124	68	130	130	95
その他の営業外項目	363	496	38	106	395
税引前利益	2,823	2,230	2,671	3,126	1,795
法人税	-969	-558	-692	-746	-411
少数株主帰属純利益	-86	-80	-85	-81	-102
株主帰属純利益	1,768	1,592	1,894	2,299	1,282
コストインカム率	72.7%	69.8%	65.6%	62.9%	74.9%



(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
リテールバンキング事業およびサービス事業 PEL/CELの影響を除く					
営業収益	7,843	7,753	7,677	7,615	7,823
営業費用および減価償却費	-5,499	-5,089	-4,855	-4,790	-5,650
営業総利益	2,344	2,664	2,822	2,825	2,172
リスク費用	-669	-1,137	-938	-1,095	-1,050
営業利益	1,675	1,527	1,883	1,730	1,122
持分法適用会社投資損益	96	56	111	116	74
その他の営業外項目	61	66	-5	-2	12
税引前利益	1,832	1,649	1,990	1,845	1,208
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	54.9	55.3	55.6	55.8	55.8
(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
リテールバンキング事業およびサービス事業					
営業収益	7,844	7,753	7,678	7,630	7,810
営業費用および減価償却費	-5,499	-5,089	-4,855	-4,790	-5,650
営業総利益	2,345	2,664	2,823	2,840	2,159
リスク費用	-669	-1,137	-938	-1,095	-1,050
営業利益	1,676	1,527	1,885	1,745	1,109
持分法適用会社投資損益	96	56	111	116	74
その他の営業外項目	61	66	-5	-2	12
税引前利益	1,833	1,649	1,991	1,859	1,195
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	54.9	55.3	55.6	55.8	55.8
(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
国内市場部門（フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む） ¹ PEL/CELの影響を除く					
営業収益	3,956	3,976	3,867	3,721	3,913
営業費用および減価償却費	-2,997	-2,610	-2,543	-2,446	-2,970
営業総利益	959	1,366	1,324	1,276	943
リスク費用	-315	-458	-353	-331	-313
営業利益	644	908	971	944	630
持分法適用会社投資損益	-5	1	4	1	0
その他の営業外項目	4	45	4	1	1
税引前利益	643	953	978	946	630
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-53	-64	-56	-62	-56
国内市場部門税引前利益	590	890	922	884	574
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	25.8	26.2	26.3	26.1	26.0
(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
国内市場部門（フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	3,816	3,838	3,735	3,602	3,757
営業費用および減価償却費	-2,912	-2,534	-2,473	-2,376	-2,885
営業総利益	904	1,304	1,262	1,226	872
リスク費用	-311	-459	-346	-329	-311
営業利益	593	845	916	897	561
持分法適用会社投資損益	-5	1	4	1	0
その他の営業外項目	3	44	4	1	0
税引前利益	591	890	924	899	561
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	25.8	26.2	26.3	26.1	26.0

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
フランス国内リテールバンキング事業（フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む） ¹					
営業収益	1,481	1,516	1,498	1,423	1,511
うち受取利息純額	797	855	853	788	810
うち手数料	684	661	645	634	702
営業費用および減価償却費	-1,169	-1,126	-1,125	-1,074	-1,166
営業総利益	312	390	373	349	345
リスク費用	-125	-169	-137	-90	-101
営業利益	186	221	236	259	244
営業外項目	1	40	-2	0	-1
税引前利益	187	261	235	259	244
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-30	-36	-30	-33	-35
フランス国内リテールバンキング税引前利益	157	225	205	226	209
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	10.8	11.0	11.0	10.8	10.6

(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
フランス国内リテールバンキング事業（フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む） ¹ PEL/CELの影響を除く					
営業収益	1,480	1,516	1,496	1,408	1,524
うち受取利息純額	796	855	852	774	823
うち手数料	684	661	645	634	702
営業費用および減価償却費	-1,169	-1,126	-1,125	-1,074	-1,166
営業総利益	310	390	371	334	358
リスク費用	-125	-169	-137	-90	-101
営業利益	185	221	235	244	257
営業外項目	1	40	-2	0	-1
税引前利益	186	261	233	245	257
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-30	-36	-30	-33	-35
フランス国内リテールバンキング税引前利益	156	225	203	212	222
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	10.8	11.0	11.0	10.8	10.6

(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
フランス国内リテールバンキング事業（フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	1,410	1,446	1,430	1,354	1,437
営業費用および減価償却費	-1,133	-1,091	-1,093	-1,040	-1,129
営業総利益	278	355	337	314	308
リスク費用	-121	-170	-130	-88	-99
営業利益	156	185	207	226	209
営業外項目	1	40	-2	0	-1
税引前利益	157	225	205	226	209
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	10.8	11.0	11.0	10.8	10.6

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項：当該引当金は、フランス国内リテールバンキング事業収益において計上されているが、住宅財形貯蓄制度（Plans Epargne Logement: PEL）および住宅財形貯蓄口座（Comptes Epargne Logement: CEL）から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。

(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
PEL-CELの影響	1	0	1	15	-13



(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
BNLバンカ・コメルシアーレ（イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む） ¹					
営業収益	676	694	669	649	659
営業費用および減価償却費	-459	-434	-426	-422	-465
営業総利益	217	260	244	227	194
リスク費用	-110	-161	-122	-122	-120
営業利益	107	99	122	105	74
営業外項目	0	0	0	-2	0
税引前利益	107	99	122	104	73
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-9	-9	-7	-9	-10
BNLバンカ・コメルシアーレ税引前利益	97	90	115	95	64
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.5	5.3	5.3	5.3	5.3
(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
BNLバンカ・コメルシアーレ（イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	654	672	649	629	637
営業費用および減価償却費	-446	-421	-413	-410	-453
営業総利益	207	251	236	218	184
リスク費用	-110	-161	-121	-122	-120
営業利益	97	90	115	96	64
営業外項目	0	0	0	-2	0
税引前利益	97	90	115	95	64
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.5	5.3	5.3	5.3	5.3
(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ベルギー国内リテールバンキング事業（ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む） ¹					
営業収益	858	861	851	835	885
営業費用および減価償却費	-835	-556	-523	-499	-830
営業総利益	23	305	329	336	55
リスク費用	-47	-67	-29	-80	-54
営業利益	-24	238	300	256	0
持分法適用会社投資損益	-3	4	7	4	4
その他の営業外項目	3	6	4	2	1
税引前利益	-24	247	311	262	5
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-11	-17	-18	-19	-10
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	-35	230	293	243	-4
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.2	5.4	5.5	5.6	5.7
(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ベルギー国内リテールバンキング事業（ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	815	820	811	794	842
営業費用および減価償却費	-802	-532	-501	-477	-797
営業総利益	13	288	310	317	45
リスク費用	-48	-68	-28	-79	-54
営業利益	-34	221	282	237	-9
持分法適用会社投資損益	-3	4	7	4	4
その他の営業外項目	3	6	4	2	1
税引前利益	-35	230	293	243	-4
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.2	5.4	5.5	5.6	5.7

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)

	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門（ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む） ¹					
営業収益	942	905	850	829	845
営業費用および減価償却費	-533	-494	-469	-451	-508
営業総利益	408	411	380	378	337
リスク費用	-33	-61	-66	-40	-38
営業利益	376	350	314	339	299
持分法適用会社投資損益	-2	-3	-2	-3	-4
その他の営業外項目	0	-1	0	0	0
税引前利益	374	346	312	336	295
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-1	-1	-1	-2
その他国内市場部門税引前利益	372	345	311	335	293
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4

(単位：百万ユーロ)

	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門（ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	937	900	846	825	841
営業費用および減価償却費	-531	-491	-466	-448	-505
営業総利益	406	409	379	377	335
リスク費用	-33	-60	-66	-40	-38
営業利益	373	349	313	337	297
持分法適用会社投資損益	-2	-3	-2	-3	-4
その他の営業外項目	0	-1	0	0	0
税引前利益	372	345	311	335	293
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
国際金融サービス部門					
営業収益	4,028	3,915	3,943	4,027	4,053
営業費用および減価償却費	-2,587	-2,555	-2,382	-2,414	-2,766
営業総利益	1,441	1,360	1,561	1,613	1,287
リスク費用	-357	-678	-592	-765	-739
営業利益	1,084	682	969	848	548
持分法適用会社投資損益	100	56	107	116	75
その他の営業外項目	57	22	-9	-3	12
税引前利益	1,242	759	1,067	960	634
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	29.0	29.2	29.3	29.8	29.8
パーソナル・ファイナンス					
営業収益	1,332	1,365	1,343	1,302	1,475
営業費用および減価償却費	-763	-687	-641	-641	-787
営業総利益	568	678	703	661	688
リスク費用	-321	-581	-383	-450	-582
営業利益	248	97	320	211	105
持分法適用会社投資損益	16	-4	7	-5	8
その他の営業外項目	1	-60	-11	4	0
税引前利益	264	33	315	210	113
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	7.8	7.9	8.0	8.1	8.1
欧州・地中海沿岸諸国部門（トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの100%を含む）¹					
営業収益	516	527	561	609	665
営業費用および減価償却費	-433	-402	-405	-414	-490
営業総利益	84	125	156	196	175
リスク費用	-39	-95	-113	-143	-86
営業利益	45	30	43	53	89
持分法適用会社投資損益	40	33	52	53	55
その他の営業外項目	-41	18	-1	-25	3
税引前利益	43	80	93	80	147
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-3	-2	-2	-1	-3
欧州・地中海沿岸諸国部門税引前利益	41	78	91	79	144
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3
欧州・地中海沿岸諸国部門（トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	512	523	557	606	660
営業費用および減価償却費	-431	-401	-403	-411	-488
営業総利益	82	122	154	194	172
リスク費用	-39	-95	-113	-143	-86
営業利益	43	28	41	51	86
持分法適用会社投資損益	40	33	52	53	55
その他の営業外項目	-41	18	-1	-25	3
税引前利益	41	78	91	79	144
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
バンクウェスト（米国プライベート・バンキングの100%を含む） ¹					
営業収益	625	594	627	629	611
営業費用および減価償却費	-407	-423	-403	-432	-465
営業総利益	218	171	224	197	146
リスク費用	7	-3	-90	-167	-62
営業利益	224	168	134	30	83
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	0	2	-3	0
税引前利益	226	168	136	27	83
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-7	-6	-6	-5	-5
NRBI	219	162	130	22	78
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.0	5.5	5.6	5.7	5.7
(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
バンクウェスト（米国プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	609	578	612	614	596
営業費用および減価償却費	-398	-413	-394	-422	-455
営業総利益	211	165	218	192	141
リスク費用	7	-3	-90	-167	-62
営業利益	217	162	128	25	78
営業外項目	2	0	2	-3	0
税引前利益	219	162	130	22	78
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.0	5.5	5.6	5.7	5.7
(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
保険部門					
営業収益	792	622	697	828	579
営業費用および減価償却費	-383	-385	-347	-339	-393
営業総利益	409	237	350	489	186
リスク費用	0	0	0	-2	1
営業利益	409	237	350	487	187
持分法適用会社投資損益	33	16	35	39	1
その他の営業外項目	0	0	0	21	9
税引前利益	442	253	384	548	197
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	9.0	8.6	8.6	8.5	8.6
(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ウェルス&アセット・マネジメント部門					
営業収益	784	826	734	678	743
営業費用および減価償却費	-612	-669	-598	-601	-642
営業総利益	172	157	136	77	101
リスク費用	-4	1	-6	-4	-9
営業利益	167	159	130	74	92
持分法適用会社投資損益	12	11	14	28	11
その他の営業外項目	96	63	1	0	0
税引前利益	275	233	146	102	102
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	2.1	2.0	2.0	2.1	2.1



(単位：百万ユーロ)	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ホールセールバンキング部門					
営業収益	3,670	3,315	3,372	4,123	2,953
営業費用および減価償却費	-2,767	-2,190	-2,117	-2,220	-2,393
営業総利益	903	1,125	1,255	1,904	560
リスク費用	-172	-432	-310	-319	-363
営業利益	731	692	945	1,585	197
持分法適用会社投資損益	9	8	3	-3	3
その他の営業外項目	11	9	7	6	2
税引前利益	751	710	955	1,587	202
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	25.0	24.5	24.7	24.3	22.3
コーポレートバンキング部門					
営業収益	1,243	1,281	1,118	1,258	1,070
営業費用および減価償却費	-755	-645	-598	-632	-748
営業総利益	488	636	520	627	321
リスク費用	-185	-430	-311	-366	-201
営業利益	303	206	209	261	121
営業外項目	6	6	2	-2	3
税引前利益	309	212	211	259	124
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	13.6	13.5	13.6	13.6	13.0
グローバル・マーケット部門					
営業収益	1,846	1,498	1,711	2,304	1,306
うちFICC	1,149	1,002	1,245	2,013	1,392
うち株式およびプライムサービス	697	497	466	290	-87
営業費用および減価償却費	-1,527	-1,089	-1,065	-1,137	-1,162
営業総利益	319	410	646	1,167	143
リスク費用	14	-2	1	45	-161
営業利益	333	407	647	1,212	-17
持分法適用会社投資損益	2	2	0	-2	1
その他の営業外項目	3	0	0	3	0
税引前利益	339	409	648	1,214	-17
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	10.4	10.0	10.1	9.8	8.4
証券管理部門					
営業収益	581	536	544	561	577
営業費用および減価償却費	-485	-457	-454	-451	-482
営業総利益	96	79	89	109	95
リスク費用	-1	1	0	2	-2
営業利益	95	79	89	111	93
営業外項目	8	9	7	3	2
税引前利益	103	89	96	114	95
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9



(単位：百万ユーロ)

	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
コーポレート・センター					
営業収益	314	-241	-165	-78	126
営業費用および減価償却費	-331	-283	-165	-329	-114
うちIT強化費用、事業再編費用、事業適応費用	-77	-150	-84	-75	-79
営業総利益	-17	-524	-330	-406	12
リスク費用	-55	-29	3	-33	-13
営業利益	-72	-554	-327	-439	-1
持分法適用会社投資損益	20	4	16	17	18
その他の営業外項目	292	421	36	102	381
税引前利益	239	-129	-276	-320	398



連結貸借対照表－2021年3月31日現在

(単位：100万ユーロ)	2021年3月31日	2020年12月31日
資産		
預金および中央銀行預け金	333,381	308,703
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産		
トレーディング目的有価証券	282,129	167,927
貸出金および売戻契約	292,547	244,878
デリバティブ金融商品	254,337	276,779
ヘッジ目的デリバティブ	9,879	15,600
その他の包括利益を通じ公正価値で測定する金融資産	50,107	55,981
負債性金融商品	2,603	2,209
資本性金融商品		
償却原価で測定する金融資産		
金融機関貸出金および債権	33,280	18,982
顧客貸出金および債権	821,991	809,533
負債性金融商品	119,113	118,316
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	4,178	5,477
保険事業に係る金融商品	270,195	265,356
当期および繰延税金資産	6,379	6,559
未収収益およびその他の資産	128,135	140,904
持分法適用会社投資	6,514	6,396
有形固定資産および投資不動産	34,028	33,499
無形固定資産	3,844	3,899
のれん	7,626	7,493
資産合計	2,660,266	2,488,491
負債		
中央銀行預金	4,867	1,594
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債		
トレーディング目的有価証券	115,050	94,263
預金および買戻契約	356,913	288,595
負債証券	67,955	64,048
デリバティブ金融商品	252,889	282,608
ヘッジ目的デリバティブ	10,486	13,320
償却原価で測定する金融負債		
金融機関預金	196,747	147,657
顧客預金	974,083	940,991
負債証券	168,987	148,303
劣後債	21,631	22,474
金融リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	3,741	6,153
当期および繰延税金負債	2,724	3,001
未払費用およびその他の負債	111,876	107,846
保険会社の責任準備金	244,441	240,741
偶発債務等引当金	9,501	9,548
負債合計	2,541,891	2,371,142
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	112,338	106,228
親会社株主帰属当期純利益	1,768	7,067
資本金、払込剰余金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	114,106	113,295
資本に直接認識される資産および負債の変動	-318	-496
親会社株主資本	113,788	112,799
少数株主資本	4,587	4,550
連結資本合計	118,375	117,349
負債および連結資本合計	2,660,266	2,488,491



代替的業績指標 (Alternative Performance Measures: APM)
フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書 (P/L) (各事業部門の営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	国内市場部門、国際金融サービス部門、ホールセールバンキング事業の損益計算書の合計 (なお、国内市場部門の損益には、フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む) BNPパリバ・グループ損益計算書 ＝事業部門＋コーポレート・センターの損益計算書の合計 グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」の表で開示	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 (各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベート・バンキングの100%を含むリテールバンキング事業の損益計算書の合計	プライベート・バンキング全体の損益を含むリテールバンキング事業の損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示	リテールバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベート・バンキングの業績の全部を含む (プライベート・バンキングは、リテールバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)
営業費用の変化 (IFRIC 21を除く後)	IFRIC 21に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC21に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を第1四半期に計上するが、その影響を排除し、他の四半期との比較の際の混乱を避け、当事業年度の営業費用の推移をとらえる指標
コスト/インカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用÷期首顧客向け融資残高 (単位：bp)	リスク費用 (単位：百万ユーロ) を期首の顧客向け融資残高で除したもの 詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」で開示	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	金融資産 (ステージ3) の引当金と当該資産 (ステージ3) の減損後残高との関係を表す指標。 対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む (保険事業を除く)	不良債権に対する引当の状況を表す指標
一時項目を除く株主帰属純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示	多額の新規項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある
自己資本利益率 (ROE)	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率 (ROTE)	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



比較分析 - 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他経費、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門： 以下の3部門から成る。

- 国内市場部門：フランス国内リテールバンキング（FRB）、BNLバンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング（BRB）、その他国内市場部門（アルパル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickel、ルクセンブルク国内リテールバンキング（LRB）を含む）
- 国際金融サービス部門（IFS）：欧州・地中海沿岸諸国部門、バンクウェスト、パーソナル・ファイナンス、保険部門、ウェルス&アセット・マネジメント（WAM）を含む。WAMには、アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、および不動産管理部門が含まれる
- ホールセールバンキング部門（CIB）：コーポレートバンキング部門、グローバル・マーケット部門、証券管理部門を含む



底堅い決算、ジョーズ効果はポジティブ	2
リテールバンキング&サービス事業.....	5
国内市場部門.....	5
国際金融サービス部門	8
ホールセールバンキング（CIB）部門	12
コーポレート・センター.....	13
財務構造.....	14
連結損益計算書	15
2021 年度第 1 四半期－コア事業別業績	16
連結四半期業績の推移	17
連結貸借対照表－2021 年 3 月 31 日現在	26
代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第 223-1 条に基づく開示.....	27

本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述は、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化（世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連）、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス（Supervisory Review and Evaluation Process：SREP）」は欧州中央銀行（ECB）により毎年実施されますが、BNP パリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 42 98 46 45

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Philippe Regli +33 (0)1 43 16 94 89

Debt Investor Relation Officer

Claire Sineux +33 (0)1 42 98 31 99

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas.com>



BNP PARIBAS

**The bank
for a changing
world**